

事務事業名	新産業の森整備事業費										担当課	部課名	都市整備部西北部総合整備事務所			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	01	細目	006	説明	02	課等の長	八文字 弘行	電話	6542

1. 事業概要

事業開始年度	平成 19 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	新産業の森は、西北部地域総合整備マスタープランにおいて重点プロジェクトに位置づけられており、産業交流を導く新たな産業拠点として、地域住民との協働によるまちづくりにより、豊かな緑につつまれた新たな産業ゾーンの創出を目指す。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等							
事業実施内容	新産業の森第二地区については、市街化区域への編入に関する協議の実施に当たり、まちづくりの前提条件の整理や地区計画案の作成に向けた方針の検討を行った。さらに、土地区画整理事業の認可に向けた準備を進めるため、地権者により土地区画整理組合設立準備会を結成した。 また、新産業の森北部地区における御所見1093号線の整備については、平成30年度までに用地を取得した箇所の工事を実施した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 株式会社オオバ 横浜支店) (委託等内容 : まちづくりの前提条件の整理や地区計画案の作成に向けた方針の検討) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 17,782 千円	事業費節別内訳		主な事業内容	
		費目	支出済額 (千円)		
		役務費	200 千円		御所見1093号線用地確認作業
		委託料	4,184 千円		新産業の森第二地区まちづくり支援業務委託等
		工事請負費	13,398 千円	御所見1093号線道路改良工事	
財源内訳	R元年度 支出済額 17,782 千円	事業費節別財源内訳		3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
		費目	支出済額 (千円)		
		分担金・負担金			
		使用料・手数料			
		国庫支出金			
		県支出金			
		その他 (新産業の森整備事業債)	12,000 千円		
		一般財源	5,782 千円		

	令和元年度
正規職員等	2.90
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	2.90

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	415,148	43,905	55,231	46,446			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	422,049	47,130	53,048	46,420			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	393,565	26,335	24,641	17,782			
	償還金利息	512	495	462	454			
	人件費合計(①+②+③)	27,972	20,300	27,945	28,184			
	①職員給与合計(常勤)	26,393	19,360	26,584	26,509			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	1,579	940	1,361	1,675			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-6,901	-3,225	2,183	26			
	①減価償却費	0	0	0	0			
②退職給与引当金繰入額	-6,901	-3,225	2,183	26				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	976.58	425.105	102.70	427.501	128.65	429.317	107.25	433.060

成果実績	指標名	基盤整備を実施する面積	目標	110	単位	110	単位	110	単位	110	単位
					ha		ha		ha		ha
	実績	23	単位	23	単位	23	単位	23	単位	23	単位
				ha		ha		ha		ha	
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由											
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			18,049,913.04	1,908,913.04	2,401,347.83	2,019,391.30					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	令和元年度末時点の課題	新産業の森第二地区においては，地区計画案の作成及び土地区画整理事業の認可に向けて，関係機関との協議や関係者との合意形成が必要となる。また，御所見1093号線については，一部区間が未整備になっていることから，引き続き，地権者の合意を得ていく必要がある。
(2)	(1)解決のための今後の取組	新産業の森第二地区については，引き続き，関係機関との協議及び関係者との合意形成を進める。また，御所見1093号線道路改良事業の推進のため，引き続き，地権者との合意に努める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	新産業の森第二地区については，まちづくりの前提条件の整理や地区計画案の作成に向けた方針の検討を行い，市街化区域への編入に関する協議の進捗を図ることができた。さらに，土地区画整理組合設立準備会が結成されたことにより，土地区画整理事業の認可の準備を進めることができた。 また，御所見1093号線については，一部区間において工事を実施し，事業の進捗が図られた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	新産業の森第二地区については，市街化区域編入に向けた関係機関との協議を進めるほか，地権者と土地区画整理事業の認可に向けて，合意形成を図る。 また，御所見1093号線道路改良事業については，引き続き，関係地権者の動向を注視し，合意に努める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	西北部地域総合整備マスタープランに関すること	有	無	1	3
2	西北部総合整備調整会議に関すること	無	無	1	
3	協働のまちづくりに関すること	無	無	1	
4	健康の森及び新産業の森オオタカ調査等に関すること	無	無	1	
5	西北部地域オオタカ検討会に関すること	無	無	1	
13	進出企業との包括協定に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2020/7/7
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	西北部地域整備事業費										担当課	部課名	都市整備部西北部総合整備事務所			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	01	細目	006	説明	03	課等の長	八文字 弘行	電話	6542

1. 事業概要

事業開始年度	平成 13 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	西北部地域総合整備マスタープランの実現に向けた事業の推進に当たり、自然環境に配慮するとともに、事業用地等の適切な維持管理を行う。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等							
事業実施内容	西北部地域総合整備マスタープランの実現に向けた事業の推進に当たり、事業用地等の維持管理を適切に行った。また、西北部地域における、オオタカの繁殖状況等の継続的なモニタリングを行い、生息状況を把握した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 特定非営利活動法人 フィールドエッグ) (委託等内容 : 希少種生息に伴う保護方策の検討) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 12,831 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		賃金	1,493 千円	パート賃金
		需用費	1,901 千円	消耗品費, 燃料費, 施設修繕費等
		委託料	8,434 千円	西北部地域オオタカ調査等業務委託等
		使用料及び賃借料	518 千円	電子複写機賃借料等
その他	485 千円	旅費, 役務費		
財源内訳	R元年度 支出済額 12,831 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	12,831 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.80
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.80

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	0	0	0	35,763			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	0	0	0	30,325			
	事業費(支出済額-②報酬合計)				12,831			
	償還金利息				0			
	人件費合計(①+②+③)	0	0	0	17,494			
	①職員給与合計(常勤)				16,454			
	②報酬合計(非常勤)				0			
	③退職金相当額				1,040			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	0	0	0	5,438			
	①減価償却費				0			
	②退職給与引当金繰入額				5,438			
	③不納欠損額				0			
	④その他 ()				0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	0.00	425,105	0.00	427,501	0.00	429,317	82.58	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		支出の大半が義務的な経費や事務経費であるため、指標の設定ができない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 西北部地域総合整備マスタープランの実現を目指すため，地域住民との協働によるまちづくりについて検討する必要がある。 管理用地の維持管理を適切に行っていく必要がある。 オオタカ繁殖状況等の調査について今後のあり方を検討する必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 地元まちづくり組織との情報交換を行う。 管理用地の適切な維持管理作業を行う。 オオタカ繁殖状況等の調査については，今後のあり方をオオタカ検討委員会の意見を聞き検討をすすめる。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	西北部地域総合整備マスタープランの実現に向けた事業の推進に当たり，事業用地等の維持管理など適切に取り組むことができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	西北部地域総合整備マスタープランの実現に向けた事業の推進に当たり，事業用地等の維持管理など適切に行い，地域住民との協働によるまちづくりの推進に取り組む。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	西北部地域総合整備マスタープランに関する事	有	無	1	3
2	西北部総合整備調整会議に関する事	無	無	1	
3	協働のまちづくりに関する事	無	無	1	
4	健康の森及び新産業の森オオタカ調査等に関する事	無	無	1	
5	西北部地域オオタカ検討会に関する事	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2020/7/7
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	遠藤葛原線新設事業費										担当課	部課名	都市整備部西北部総合整備事務所			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	01	細目	006	説明	04	課等の長	八文字 弘行	電話	6542

1. 事業概要

事業開始年度	平成 21 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	遠藤葛原線は西北部地域の南北軸として計画された延長約3kmの道路で、県道藤沢座間厚木線から約0.7kmの区間について事業着手している路線である。						
対象	1. 個人	市民				433,060	人
根拠法令等	法律等	道路法					
事業実施内容	事業着手した区間の用地取得に向け、権利者と交渉を進めるとともに、取得予定地の用地測量、建物等調査及び雨水貯留施設設置に向けた検討を行った。また、過年度に取得済みの事業用地の維持管理を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 有限会社アサヒ測量 他) (委託等内容 : 取得予定地の用地測量 等) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 20,559 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	195 千円	立入防止柵の修繕
		役務費	297 千円	防草シートの設置
		委託料	20,067 千円	用地測量, 建物等調査, 雨水貯留施設他検討委託
財源内訳	R元年度 支出済額 20,559 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	20,559 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.70
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.70

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	40,058	9,825	17,451	38,901			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	40,450	12,099	16,354	37,982			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	23,915	1,362	1,878	20,559			
	償還金利息	1,102	1,070	985	901			
	人件費合計(①+②+③)	15,433	9,667	13,491	16,522			
	①職員給与合計(常勤)	14,562	9,219	12,834	15,540			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	871	448	657	982			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-392	-2,274	1,097	919			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-392	-2,274	1,097	919			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
	市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	94.23	425,105	22.98	427,501	40.65	429,317	89.83

成果実績	指標名	用地取得面積	目標	9,443	単位	m ²	9,443	単位	m ²	9,443	単位	m ²	9,443	単位	m ²
			実績	7,744	単位	m ²	7,744	単位	m ²	7,744	単位	m ²	7,744	単位	m ²
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由														
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			5,172.78	1,268.72	2,253.49	5,023.37									

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	令和元年度末時点の課題	事業着手している区間については，全体の約82%の用地取得が完了しているが，工事の実施に向けて，交渉を継続し，残りの事業用地取得に努める必要がある。また，大雨の際に浸水が生じる地域であることから，浸水対策としての雨水貯留施設の実施設設計及び道路整備に併せた水路設計，道路修正設計が必要となる。
(2)	(1)解決のための今後の取組	早期開通に向け，用地取得率100%を目指し権利者と交渉を継続する。また，雨水貯留施設の実施設設計等を含めた道路修正設計を進めていく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	事業着手している県道藤沢座間厚木線から約0.7kmの区間については，残りの約18%に当たる事業用地の取得に向けて，継続した交渉が進められた。また，浸水対策としての雨水貯留施設設置等の検討を進めることができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	遠藤葛原線は，新たな産業ゾーンの創出を目指す「新産業の森地区」の都市基盤として必要性が高いことから，地域の課題を考慮しつつ，引き続き，早期完成を目指し事業を進める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	西北部地域総合整備マスタープランに関すること	有	無	1	3
2	西北部総合整備調整会議に関すること	無	無	1	
3	協働のまちづくりに関すること	無	無	1	
9	（仮称）遠藤葛原線事業に関すること	有	無	1	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2020/7/7
----	-------	----	-------	-----	----------